

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画の推進			20年度予算コード	014	整理番号	105	枝番号
担当部課名	文化交流課		コード	102100		昨年度 整理番号	128, 129		
係名	男女共同参画推進担当		連絡先 電話番号	3793					
上位施策名		No	69		男女共同参画社会に向けた環境整備				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		3 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 政策番号 5 施策番号 事業コード 9		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民、職員、各主管課		(1) 男女共同参画社会基本法 (2) 杉並区男女共同参画推進懇談会設置要綱 (3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		・男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画の策定、推進。 ・区民懇談会で男女共同参画について区民意見集約を図る。 ・杉並区行動計画推進状況を調査する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・男女平等や男女共同参画についての理解を深める。 ・男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画を着実に実行する。				
	活動指標名(式)		(1) 男女共同参画推進区民懇談会の開催回数 (2) 啓発品作成数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 審議会等における女性委員の登用数 (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	回	10	9	10	12	10	100.0	
	活動指標(2)	個	2,000	3,600	1,500	10,000	5,000	30.0	
	成果指標(1)	%	36.6	39.0	37.5	39.0	40.0	93.8	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,186	6,912	4,127	3,984	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円		630	930				
	職員数 (常勤 非常勤)	人	1.87	1.80	2.11	2.11			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,942	16,452	19,285			19,285
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	20,128	23,364	23,412	23,269			
	単位あたりコスト(-)÷	円	2,012,800	2,596,000	2,341,200	1,939,083			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	20,128	23,364	23,412	23,269			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	都市宣言10周年記念事業		1	回	1,652				
	普及啓発				1,237				
	男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査		1	回	500				
	男女共同参画推進区民懇談会		10	回	462				
その他 (調査研究、都市宣言)				276					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 105 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	111.1	活動指標(2)の 19年度達成率%	41.7	19年度予算 執行率%	59.7
		普及啓発用品の作成及び企業くけ講師謝礼がが予定より低く抑えられた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		19年度は企業向け意識啓発事業として、講演会を実施した。また、都市宣言10周年記念事業を実施した。 20年度は「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」(21年度～25年度)の策定年度にあたる。策定のため、区民懇談会を通常の年より多く開催し、区民の意見を反映した行動計画を策定する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並区は平成9年12月1日に男女共同参画都市宣言を行い、平成14年10月に内閣府と共催で全国男女共同参画都市宣言都市サミットを開催した。「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」に基づき男女共同参画を推進している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	男女共同参画は簡単には進まないが、繰り返しPRをしていくことが必要であり、真の男女共同参画社会をめざすため、区役所が見本となってほしいという意見が多い。					
	今後の予測	合計特殊出生率の低下、少子高齢社会の成熟を背景に、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が重要な課題になってくるとと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の状況を調査研究し、それに基づき区民、団体、職員等に、男女平等に関する意識啓発や情報提供することにより、男女共同参画社会の実現を訴え続けることができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 「男女共同参画行動計画」の改定や推進状況調査報告書を策定する際、区民懇談会委員と協力しながら実施していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 男女共同参画の推進という事業の性格上、受益者負担は適さない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在、既に必要最低限の経費で行っている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 男女共同参画の視点からの区民の意見を集約するため、区民懇談会の部会を設置している。各課からの「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」の推進状況調査報告を受けて、区民懇談会委員に意見を述べてもらい、その意見を掲載した報告書を作成した。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 男女共同参画社会を実現するため、区民の意識と実態を把握し、効果的な事業を展開する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区内最大の事業所として、区役所が率先してワーク・ライフ・バランスに取り組み、区民に訴えかけていくほか、職員一人ひとりが男女共同参画の必要性を理解して、各所管の課題に取り組む必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 21年度は「男女共同参画行動計画」の改定作業が終わるので、20年度に比較して予算減となる。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女平等推進センターの運営			20年度予算コード	015	整理番号	106	枝番号		
担当部課名	区民生活部 文化・交流課		コード	051204	昨年度 整理番号	125・126・127					
係名	男女平等推進センター担当		連絡先 電話番号	3794							
上位施策名		No	69		男女共同参画社会に向けた環境整備						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 4 政策番号 5 施策番号 9 事業コード 40 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内在住・在勤・在学者、区内女性団体・グループ、男女平等推進センターを利用する個人・団体		(1) 杉並区立男女平等推進センター条例 (2) 杉並区立男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱 (3) 杉並区女性総合相談(一般・法律)実施要綱							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	男女共同参画社会をめざすことを目的とした啓発講座等の開催、男女共同参画に関する情報の収集・発信、区内の女性団体等の育成・交流の支援、女性の悩みごとに関する相談の実施、男女平等推進センターの維持・管理。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 男女共同参画社会づくりに関する情報等の提供や、講座等の開催により、意識啓発を図る。女性団体等が講座等の企画運営に携わることにより、積極的な地域活動や団体育成を促進する。女性相談者に対して、問題解決のための適切な指導・助言を行い、快適な生活を送るための手助けをする。							
	活動指標名(式)	(1) 講座の開催回数 (2) 女性相談の日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 講座受講者の延べ人数 (2) 女性相談の件数							
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%		
			実績		計画		計画	22年度			
	活動指標(1)	回	36		15		9	15	60.0		
	活動指標(2)	日	241		304		304	305	99.3		
成果指標(1)	人	853		300		208	300	69.3			
成果指標(2)	人	1,229		2,000		896	1,500	59.7			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	13,656		28,375		25,223	27,772	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0		0		0	0			
	(内) 委託費	千円	4,220		22,348		21,099	22,283			
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.00	4.00	2.00	0.00	1.30	0.00		1.00	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	27,180		18,280		11,882		9,140	
		非常勤職員分	千円	11,320		0		0		0	
	総事業費 ++	千円	52,156		46,655		37,105	36,912			
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,448,778		3,110,333		4,122,778	2,460,800			
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0	
		国・都等からの支出金	千円	0		0		0		0	
特定財源計 +		千円	0		0		0	0			
差引: 一般財源 -		千円	52,156		46,655		37,105	36,912			
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	相談業務委託		304	日	14,238						
	施設保守管理委託		304	日	6,010						
	講座の開催		4	講座	732						
	10周年記念事業		1	回	358						
その他 ()				3,885							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 106 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	60.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	88.9
	1講座当たりの開催回数減によるもの。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成19年4月から一般相談の業務を民間の専門機関に委託し、日曜・祝日についても相談に応じている。受付管理業務についても、民間事業者に委託し、常勤職員(兼務)を1名とした。講座の開催についても、企画・運営を区内の女性団体・グループに委託している。
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	男女平等推進センターは、平成9年9月に男女共同参画社会の実現をめざすための拠点の施設として開設した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施設が最寄駅から離れていることから、交通の便が悪いことについての要望が寄せられている。
	今後の予測	利用団体等の構成員の高齢化に伴い、利用者の減少が予測される。 最近の社会状況を反映して、DV等、より深刻な内容の相談が増えていくことが予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:男女共同参画の実現に向けて、講座等による啓発、情報の提供、団体活動への支援等は必要である。女性相談については、多岐にわたる内容に専門の相談員が助言・指導を行い女性の悩みごとの解決に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:講座等の事業については、区民・団体等との協働により、引き続き実施していく。専門の相談機関に委託したことにより、資質の高い相談員を配置し、専門性の高い相談業務を継続していく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:講座の受講料や登録団体による施設の使用料については、検討の余地はあるが、他の類似施設との統一性が必要である。相談については、事業の性質から、受益者負担は困難である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:平成19年度からの業務委託に伴って、事業の見直しを行った。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 相談業務については、相談専門機関のNPO法人に委託。 受付管理業務については、建物総合管理と一体として、民間企業に委託。
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	講座の企画・運営については、区内の女性団体・グループに委託。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成19年度の事業の委託化により、業務の見直しを行った。当面は現状を維持していく。	

21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 予算の効率的な執行に努めながら、相談業務等の質をより高め、さらに区民や女性団体等との協働を推進していく。